



会派みどり
木下八重子

地域における課題について

【質問】 市政執行方針の冒頭部分で、「国においては、一億総活躍社会の実現を目指し、新・三本の矢に基

づく対策が講じられているところですが、国の動向を注視しながら刻々と変化する社会情勢をとらえ、滝川の展望と課題を今一度見つめ直す中で慎重に市政運営にあたつてまいります。」と決意を述べているが、地域における重要課題をどのようにとらえているのか伺う。

【答弁】 地域における重要課題については、中心市街地の再生、高齢化社会への対応、子育て支援の充実、教育のマチたきかわの実現、財政健全化などを当面の重要課題ととらえています。併せて、人口減少対策である総合戦略の推進に取り組むたいと考えています。

誰もが住みよい安全安心なまちづくりについて

【質問】 少子化対策の一環として、

不妊・不育治療を受けやすくするため、一般不妊・不育治療への助成を引き続き行うほか、妊婦健康診査に係る助成を継続するとあるが、対象市民に対する周知・受診率向上へ向けた対策について伺う。また、新たに実施される日本脳炎ワクチンの定期予防接種について伺う。

【答弁】 安全・安心な出産をサポートするため、助成を継続して実施します。対象市民へは、市広報をはじめ道内の産科婦人科医療機関へのポスター・チラシの配布、高校生などへの健康教育の機会を活用した啓もうなど、今後も受診率向上へ向けて、積極的な周知を図っていきます。

日本脳炎は、北海道ではこれまで予防接種を要しない疾病でしたが、予防接種法の規定に基づき、平成28年4月1日より、本市においても市内7か所の医療機関で実施する予定で準備を進めています。

地域自ら取り組む地域振興事業の推進について

【質問】 江部乙地区では、日本一の菜の花畑と防風林に囲まれたりん

ご畑を地域資源として、日本で最も美しい村連合に加盟したが、加盟要件の一つである樹園地振興に向け、地域おこし協力隊に担ってもらおうとしている。最低でも5年後の美しい村連合再認定のときまでに現状より面積が拡大する方向で今後の計画が立てられると思うが、詳しい振興計画はいつごろ示されるのか伺う。

【答弁】 地域おこし協力隊制度の活用については、りんごの栽培技術の継承と加工品などの商品開発に取り組んでもらうことをねらいとしています。

加盟要件の一つである地域資源となった防風林に囲まれたりんご畑の景観維持および作付面積減少の歯止めにも少しでもつながればと考えています。現在、日本で最も美しい村江部乙協議会において振興計画を策定しています。今後については、協議会が主体となって計画を進める中で、市としても必要に応じた支援をしていく考えです。

未来へはばたく子どもたちを育てるまちづくりについて

【質問】 本市で子育てをしたいと思

う環境づくりを進めるにあたり、結婚・妊娠・出産・子育てと切れ目のない支援体制の構築が急務であり、女性が活躍できる社会の実現をコンセプトとする（仮称）女性活躍推進センターについて、官民連携による施設整備の可能性を探るため、調査・研究を進めるとあるが、具体的にどのような進めるのか伺う。

【答弁】 このセンターは、地方創生の中で女性活躍推進法に基づく女性の職業生活における活躍を推進するまちづくりを行うことにより、女性の人口流出を抑制することを目的としており、官民連携により施設の整備、運営および政策を推進していきたいと考えています。このため、本市の地方創生に資する施設および機能であると考えていますが、この実現には女性のニーズに的確に対応できる民間のノウハウが必要であることから、官民連携による高いサービス水準の確保、さらには現在の財政状況では、民間資金の投資が前提となりますので、官民連携に関する実現可能性の調査を実施したうえで考えていきたいと思っています。